

1) 着目した豊かさの要素・要件

回答欄： 時間

2) 豊かさの要素・要件が生まれた背景や要因

回答欄： ・時計を気にしなくてよい
・ポジティブな感情が生まれる：楽しい、嬉しい、目的地に対する期待感など
・どういう時間を費やすか、自分で選びとる／デザインすることができる（旅行、余暇などにおける移動スケジュールやモビリティの選択）
・心を動かされる瞬間がある：風景、提供されるサービス、出会いなどによる

3) 着目する豊かさの要素・要件を阻害するコト・モノ

回答欄： ・時計
・乗換案内（効率優先の移動の象徴）
・

1) 人間が長寿化することにより起こるであろう個人の変化

- 回答欄：
- ・五体満足でいられない。大病を患ったり、身体の機能の一部を失っても生き続ける
→誰もがある種の障害を抱えて生きていく
 - ・リタイアする、ということがなくなる
→働く、社会と関わりを持ち続けようとする

2) 人生100年時代の個人の変化によって生まれるであろう新たな移動・モビリティ

- 回答欄：
- ・車椅子は障害者のためのものではなく、誰もが使えるモビリティになる
 - ・パーソナルなモビリティを使うことを前提とした移動空間
 - ・車椅子どうし並んで移動できる／すれ違うことができる街路

3) 人生100年時代には、移動・モビリティのどのような側面・性質が重要となるか

- 回答欄：
- ・安全性
 - ・安全管理について自動制御できる（事故防止、速度制御など）
 - ・自分の足として自力で移動できる（介助者を必要としないこと）

お名前：

次回のワークショップにむけて

1) 人生100年時代の移動やモビリティを考えるにあたって、もしも分かったら面白そうな統計情報があれば挙げてください（事務局が調査を全て対応できるわけではありません）

- ・ 障害の特性と外出頻度／外出距離

2) 人生100年時代の移動やモビリティに関連した、書籍や論文があればチーム内で共有してみてください